

2019年全国家計構造調査が行われます



どんな調査なの？

全国家計構造調査は、家計における消費や所得、資産などの実態を明らかにすることを目的とする調査です。本年10月から11月までの2か月間にわたり、家計における収支や貯蓄・負債、就業状況、住居に関する事項などを調査します。

統計法に基づく「基幹統計調査」として、1959年から5年ごとに行われ、今回が13回目にあたります。無作為に選ばれた全国約90,000世帯、県内では約1,400世帯(全11市、6町村(与那原、中城、国頭、恩納、金武、竹富))を対象に調査が行われます。

調査の結果は どのように使われるの？

たとえば、高齢者への年金給付額を検討する際、高齢者の消費支出はどれくらいかを把握する必要があります。年金制度についての検討資料として、厚生労働省では全国家計構造調査の結果を用いています。

社会保障・税の見直しに関する検討のほか、地方公共団体、大学・研究所、民間企業では商品開発の基礎資料などとして幅広く活用されています。



調査のしくみ

次のような流れで調査を行います



個人情報保護

ご回答いただいた内容は、統計法によって厳重に保護されますので、安心してご回答ください。

統計調査員

選ばれた世帯には、各市町村の統計調査員が訪問して、世帯の状況をお伺いします。統計調査員は、県知事が任命した地方公務員です。調査員には「調査員証」が交付され、必ず携帯しています。統計調査員を名乗る「かたり調査」にご注意ください。



調査のお願い

国や地方公共団体が適切に行政を行っていくためには、現在の国民生活の実態を正確に把握する必要があります。調査の趣旨をご理解いただき、調査票へのご記入をお願いします。

沖縄県統計資料WEBサイトのご案内

全国家計構造調査(旧名称:全国消費実態調査)や、各種統計資料はこちらでご覧いただけます。
URL:<https://www.pref.okinawa.lg.jp/toukelka/>

問い合わせ

統計課

電話:098-866-2050

FAX:098-866-2056



9月18日はしまくとぅばの日。

広げよう!しまくとぅば 県民運動

